

(仮称) 湘南台寒川線について (報告)

平成24年度第1回寒川町都市計画審議会

主な説明内容

- (仮称) 湘南台寒川線の上位計画での位置付けについて
- 都市計画道路の見直し結果について
- (仮称) 湘南台寒川線の概要について
- 都市計画道路の変更(素案)内容について
- 今後のスケジュールについて

（仮称）湘南台寒川線の上位計画での 位置付けについて

（仮称）湘南台寒川線の位置付け①

■寒川町の計画

- ・さむかわ2020プラン
- ・寒川町都市マスタープラン
- ・都市計画区域の整備・開発及び保全の方針

○さむかわ2020プラン

・第1節第1項道路網の整備

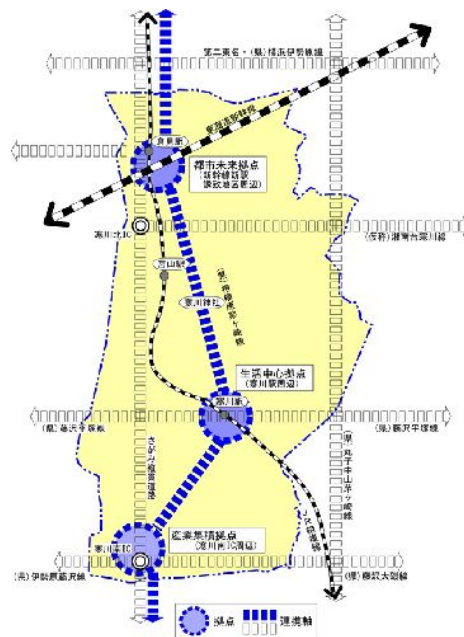
さがみ縦貫道路寒川北インターチェンジと藤沢市方面を結ぶ（仮称）湘南台寒川線は、生活環境に配慮した上で、早期整備の実現に向けて県に協力を要望し、整備促進します。

○寒川町都市マスタープラン

・都市施設の方針 主要幹線道路

本町の都市構造において、東西・南北方向の道路網を構成し、都市拠点間を連絡するとともに、広域幹線道路や幹線道路等との連携を図ります。

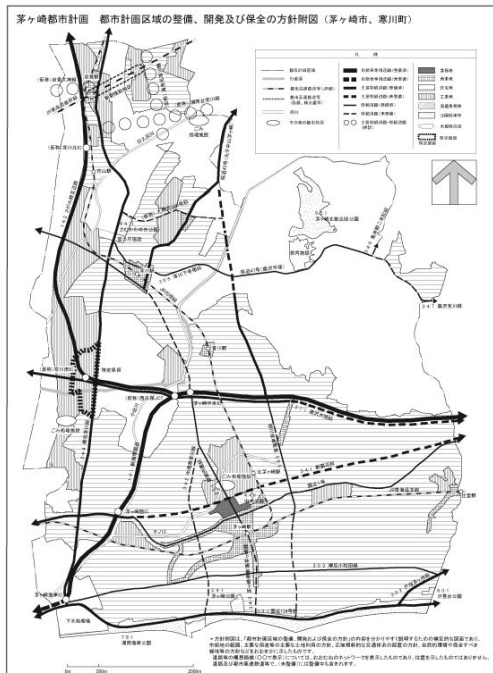
さむかわ2020プラン 将来都市構造図



○都市計画区域の整備・開発及び保全の方針

・都市施設の整備に関する主要な都市計画の決定の方針

主要な施設の配置の方針において、東西方向の主要幹線道路として、「（仮称）湘南台寒川線の具体化を図る」とあり、主要な施設の整備目標でもおおむね10年以内に整備することを予定する主な施設（おおむね10年以内に都市計画を定める施設、着手予定、整備中及び供用する施設を含む。）として位置づけられています。



都市計画道路の見直し結果について

○都市計画道路見直し

- ・都市計画決定後、長期にわたり未着手となっている路線での都市計画制限による住民訴訟が問題になった。
- ・本町では、県のガイドラインに基づき、平成18年10月に庁内検討組織を立ち上げ検討を開始した。
- ・「(仮称)湘南台寒川線」について必要性の検証を行い、追加路線とした。
- ・平成22年10月に「都市計画道路見直し方針(素案)」をまとめ、広く住民からの意見を聞くためにパブリックコメントを実施した。
- ・都市計画道路見直し方針を平成23年1月に公表した。

(仮称) 湘南台寒川線

各路線・区間の概況

国道467号、主要地方道43号藤沢厚木線、主要地方道45号丸子中山茅ヶ崎線、都市計画道路3・4・4柳島寒川線及び、都市計画道路1・4・2さがみ縦貫道路の(仮称)寒川北ICにアクセスする、広域を連絡する主要幹線道路である。

構造形式は地表式である。

当該区間は、県道46号相模原茅ヶ崎線と小動地内藤沢市境の間の区間で、その計画地は調整区域(一部工業地域)であり、主に田畑などの農地、一部住宅が点在している。

機能評価結果

項目	評価
自動車交通機能	都市マスタープランに位置づけられた幹線街路(構想路線)であるとともに、高い自動車交通機能を有している。
歩行者・自転車の交通機能	歩道が確保され、危険箇所が解消するなど、歩行者・自転車の交通に対する安全性向上に寄与するため、必要性は高い。
土地利用との整合	都市マスタープランにおける当該路線周辺の土地利用は、大部分は田園として位置づけられているが、都市計画道路1・4・2さがみ縦貫道路との結節点は工業系土地利用と位置づけられており、当該路線はその実現に寄与すると考えられる。
まちづくりとの整合	当該路線は、県及びまち指定の重要文化財上は通過しないが、既存住宅地を通過するため、地域の分断、コミュニティへの影響等が考えられる。
市街地形成機能	都市の拠点として位置づけられている新幹線新駅誘致地区周辺や、緑の拠点として位置づけられている(仮称)寒川北公園等へのアクセス性が高まるなど、拠点性の向上に寄与する。
防災機能	市街地内の延焼遮断空間機能を有し、広域応援活動拠点や一時避難場所へのアクセス性が高まることから、防災機能を有していると考えられる。

(仮称) 湘南台寒川線

機能評価結果

項目	評価
環境機能	道路両側に植樹帯が確保されていることや、自然環境保全地域を通過しないことから、環境機能を有していると考えられる。
代替機能	当該路線は、藤沢市内の主要地方道45号丸子中山茅ヶ崎線と都市計画道路3・4・4柳島寒川線を結ぶ路線であり、周辺の既存道路の整備状況から、代替機能を有する路線はない。
他事業との整合	都市計画道路1・4・2さがみ縦貫道路やツインシティ倉見地区整備事業と密接な関係を有している。

総合的判断

追加

藤沢市の湘南台方面と当町の北部地域を結ぶ東西幹線道路で、「さがみ縦貫道路」へのアクセス道路として、また東海道新幹線新駅誘致に伴うツインシティのまちづくりにおける広域交流連携に大きく貢献する道路である。自動車交通機能、歩行者・自転車の交通機能、防災機能、環境機能等の多様な機能を有しており、必要性は高いと考えられる。

町都市マスタープランにおいて、幹線道路(構想)として位置づけられており、さがみ縦貫道路の(仮称)寒川北ICへのアクセスや、東西連絡機能の創出を図る路線としての役割を担っている。

将来交通量推計の結果、他の路線の混雑度も改善されることもあわせ、必要性が高いため追加とした。なお、本路線の具体的なルートはまだ決定されていないため、土地利用や整備時期の調整を図りながら事業を推進することが求められる。

(仮称) 湘南台寒川線の概要について

計画内容

- 計画区間

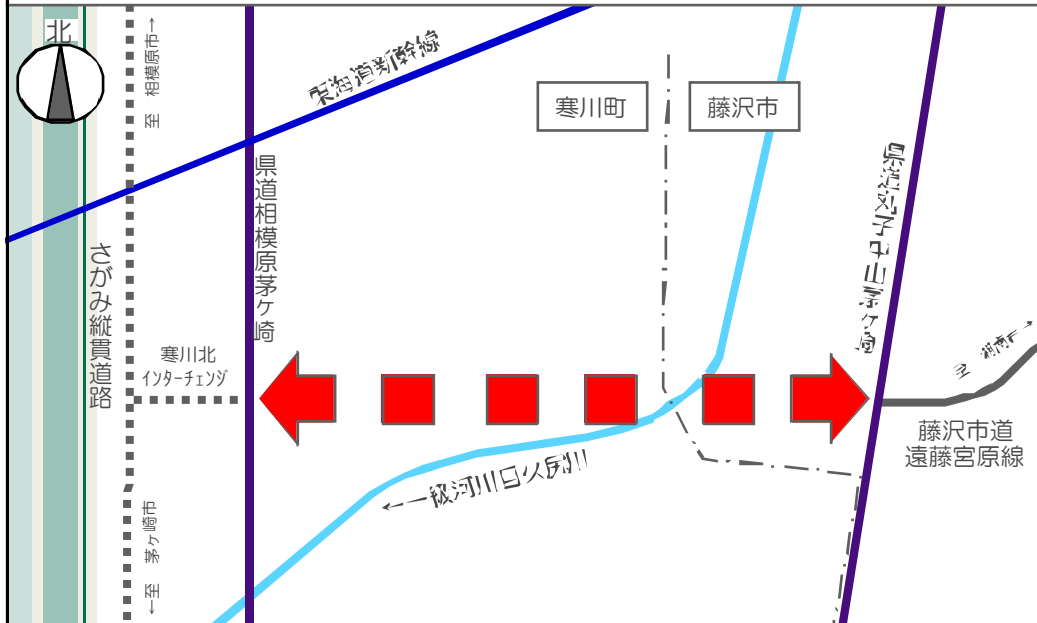
さがみ縦貫道路寒川北IC出入口（寒川町宮山）の県道46号相模原茅ヶ崎線から藤沢市道遠藤宮原線が取り付いている（藤沢市宮原）県道45号丸子中山茅ヶ崎線までの区間

- 道路の幅員

計画交通量（約180百台/日）から車線数を定め、遠藤宮原線と同程度の総幅員を予定

延長	約2.3 km	（内寒川町域約1.5 km）
車線	車道4車線	（片側2車線×2）
幅員	25 m（予定）	（両側の歩道等を含む）

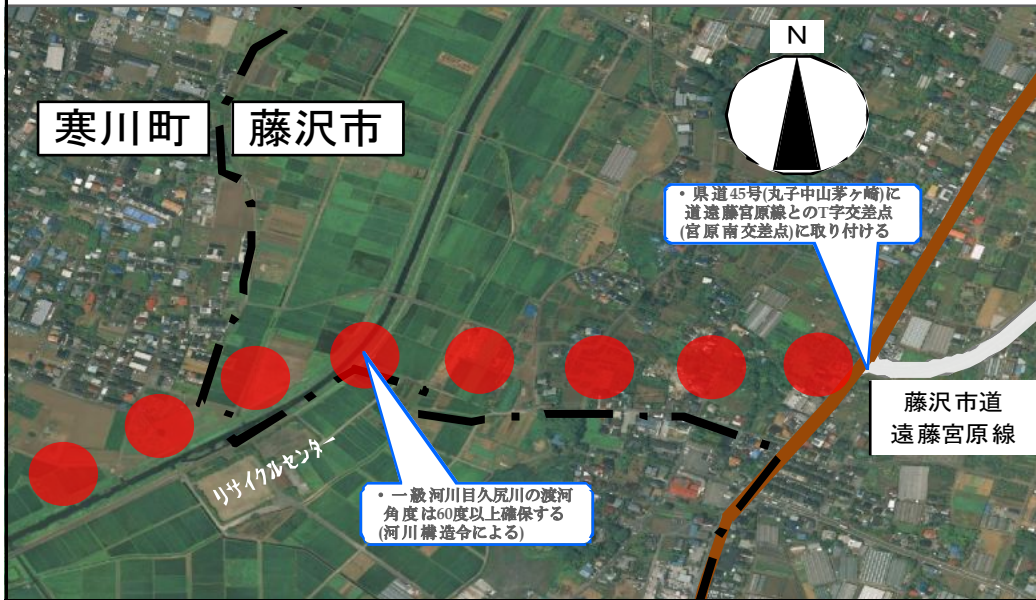
(仮称) 湘南台寒川線



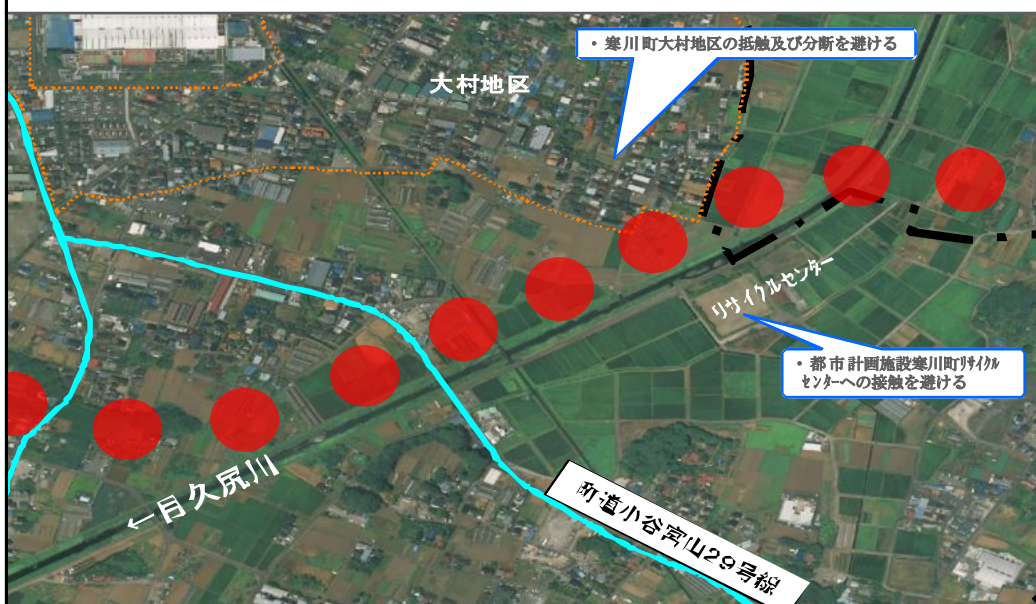
(仮称) 湘南台寒川線概略ルート



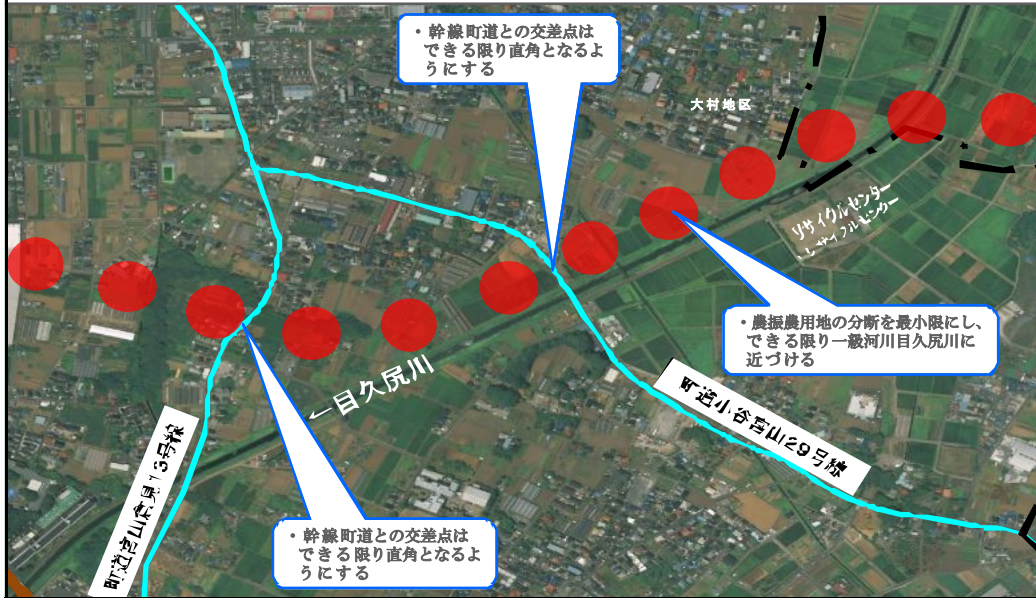
ルート選定について【コントロール①】



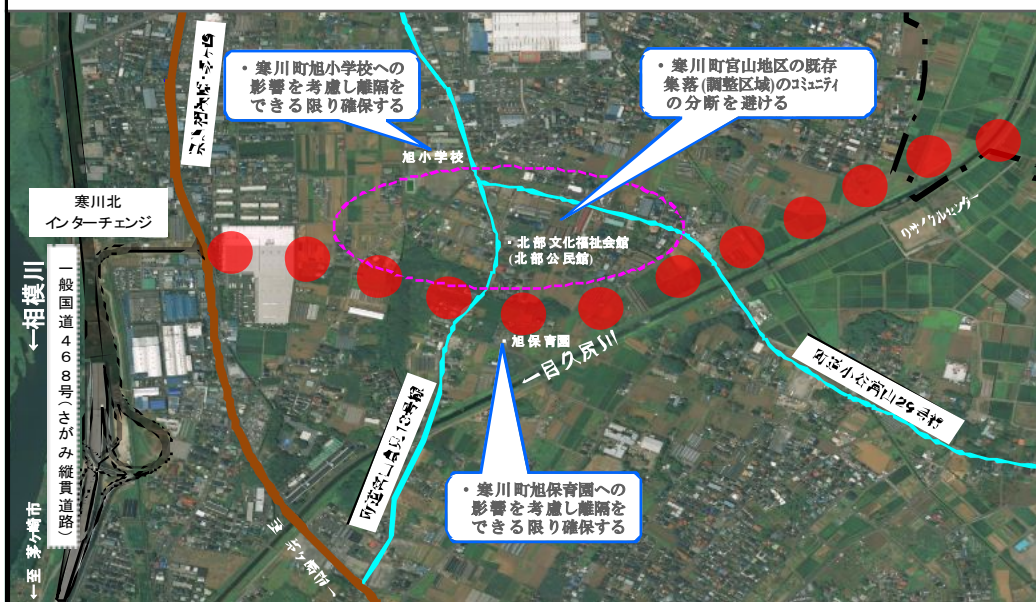
ルート選定について【コントロール②】



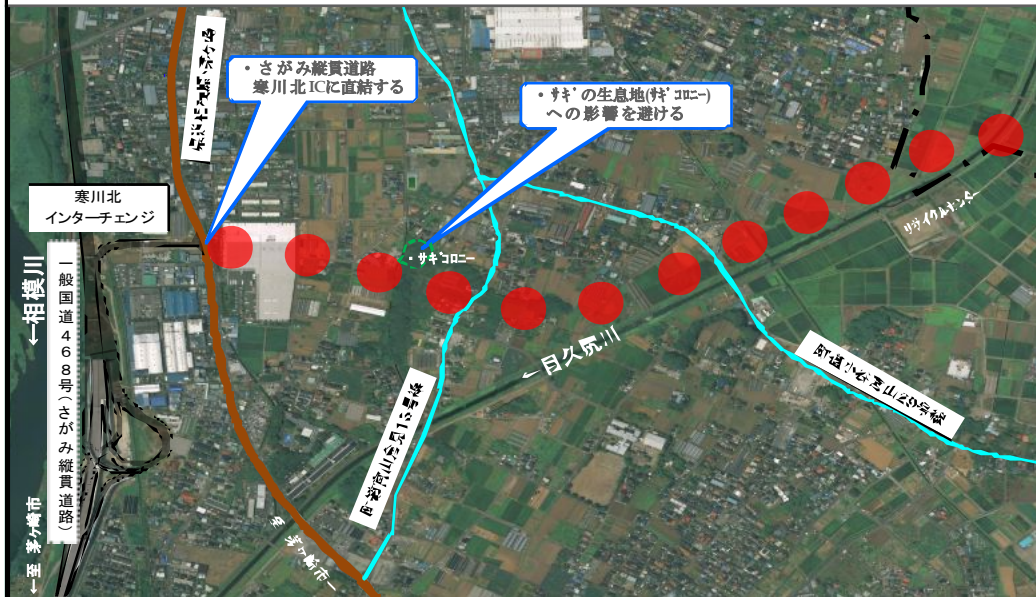
ルート選定について【コントロール③】



ルート選定について【コントロール④】



ルート選定について【コントロール⑤】



環境実態調査

今年度から来年末を目処に、下記項目について環境実態調査を実施

大気汚染

騒音、振動

水質汚濁

日照障害

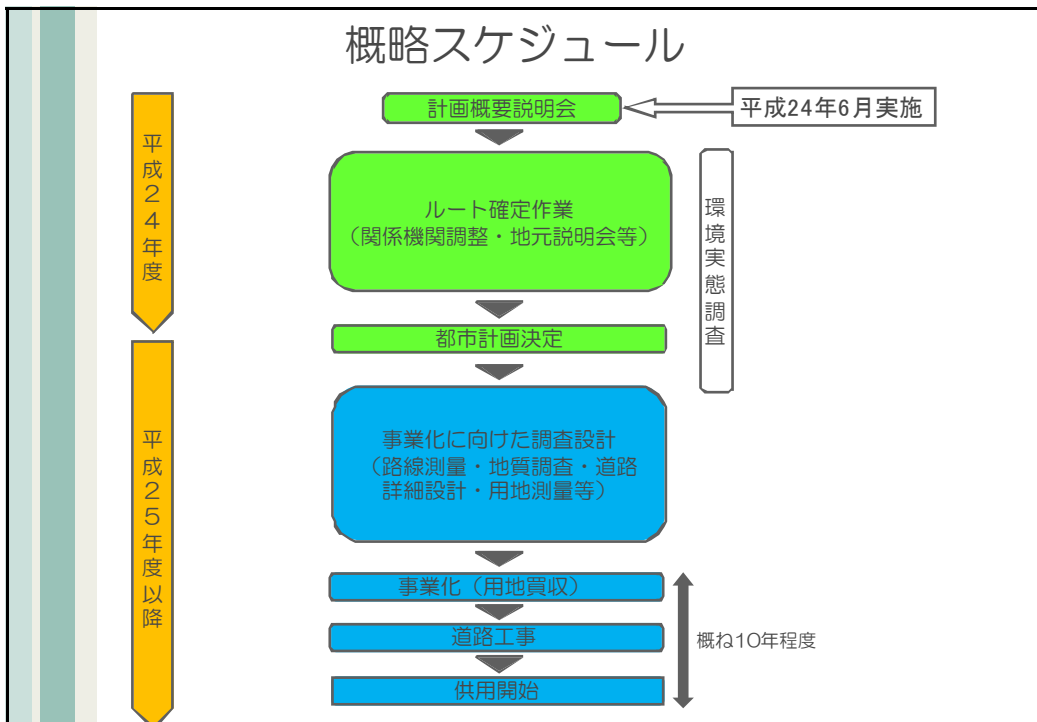
植物、動物、生態系

景観

地域分断

サキ類調査

概略スケジュール



都市計画道路の変更(素案)内容について

茅ヶ崎都市計画道路の変更(寒川町決定)

都市計画道路に3・3・3号 宮山線を次のように追加する。

種別	名称		位置			区域		構造			備考
	番号	路線名	起点	終点	主な通過地	延長	構造形式	車線の数	幅員	地表式の区間における鉄道等との交差の構造	
幹線街路	3・3・3	宮山線	寒川町宮山	寒川町宮山	寒川町宮山	約1470m	地表式	4車線	25m	幹線街路3・4・4柳島寒川線と平面交差	

理由

本計画路線は、自動車専用道路1・4・2号さがみ縦貫道路寒川北ICと接続し、藤沢市湘南台方面との連携強化を図る都市計画道路として、追加するものです。

茅ヶ崎都市計画道路の変更(寒川町決定)

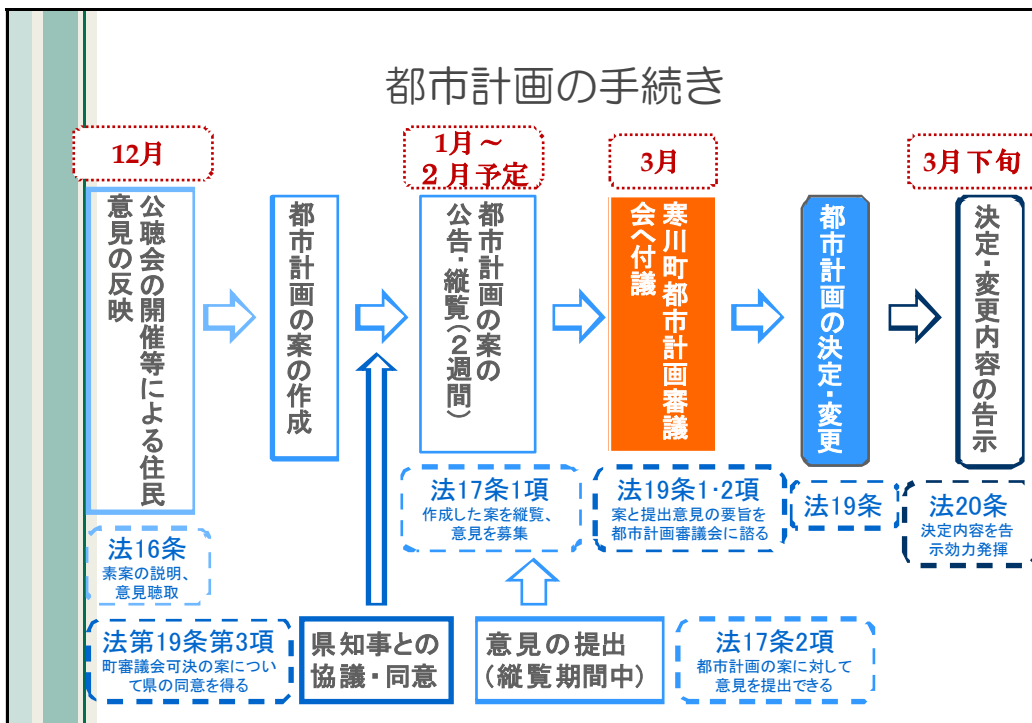
都市計画を定める土地の区域

追加する土地の区域 寒川町 宮山 地内

削除する土地の区域 なし

変更する土地の区域 なし

今後のスケジュールについて



(仮称) 湘南台寒川線について (報告)

平成24年度第1回寒川町都市計画審議会